



● 地域提案型

平成20年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	黒竜江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業
3. 事業の背景と必要性	プロジェクトサイトである双城市は農業と牧畜業が発達し、主な農産物はトウモロコシ、コムギなど、食糧総生産量は150万トンであり、黒竜江省でも主要な食糧生産地である。しかし、近年の急速な農業と牧畜業の発展により、現地では、収穫後の茎やワラなどの廃棄物の焼却や家畜の糞尿の不適切な処理などによる環境汚染の問題に直面している。  そのための対策として環境負荷の少ない資源循環型の農村環境構築のための技術が必要とされている。
4. 事業の目的	双城市において環境負荷の低い循環型農村環境を構築する技術のガイドライン普及計画が整備されることを目的とする
5. 対象地域	中国黒竜江省双城市杏山鎮順利村
6. 受益者層	現地資源循環型農村構築関係者及び順利村農牧業従事者（約2300人）
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 問題点の把握・分析により改善策が検討される</li> <li>2. 実証試験により、堆肥化、炭化およびメタン発酵による環境改善策の適用可能性が現地において実証される</li> <li>3. 循環型農村環境構築ガイドラインが取りまとめられる</li> <li>4. 日本における技術研修により、中国側関係者が循環型農村環境構築技術を習得する</li> </ol>
8. 実施期間	平成21年度～平成23年度
9. 事業の実施体制	<p>日本側：新潟県黒竜江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業推進協議会（新潟県農業総合研究所、新潟大学農学部及びNPO法人新潟県日中友好協会）</p> <p>現地側：黒竜江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業推進協議会（東北農業大学、黒竜江省科学技術庁及び双城市杏山鎮順利村）</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	新潟県黒竜江省順利村モデル地区資源循環型農村環境構築技術協力事業推進協議会（新潟県）
2. 対象国との関係、協力実績	<p>新潟県と黒竜江省は、昭和58年8月に友好県省関係を締結し、本年は25周年になっている。</p> <p>新潟県は、県立農業大学校への研究生の受け入れをはじめ、農業研究所への長期実習生を受け入れるなど、両県省間の農業協力と交流に努めている。</p> <p>NPO法人新潟県日中友好協会が仲介し、昭和58年9月には新潟大学と黒竜江大学が友好協力関係を、平成13年8月には新潟大学農学部と東北農業大学が学術交流協定を結んでいる。新潟大学農学部は、東北農業大学から研究者・留学生を招へいするなど、両県省の農業生産技術発展に向けた協力と交流を行なっている。</p> <p>近年は、黒竜江省の生態環境回復保全のため、JICA草の根技術協力（地域提案型）新潟県・黒竜江省流域砂漠化地区生態林建設技術協力事業、並びに、新潟・白音諾勒村“ふれあいの森”植樹事業に取り組んでいる。</p>